

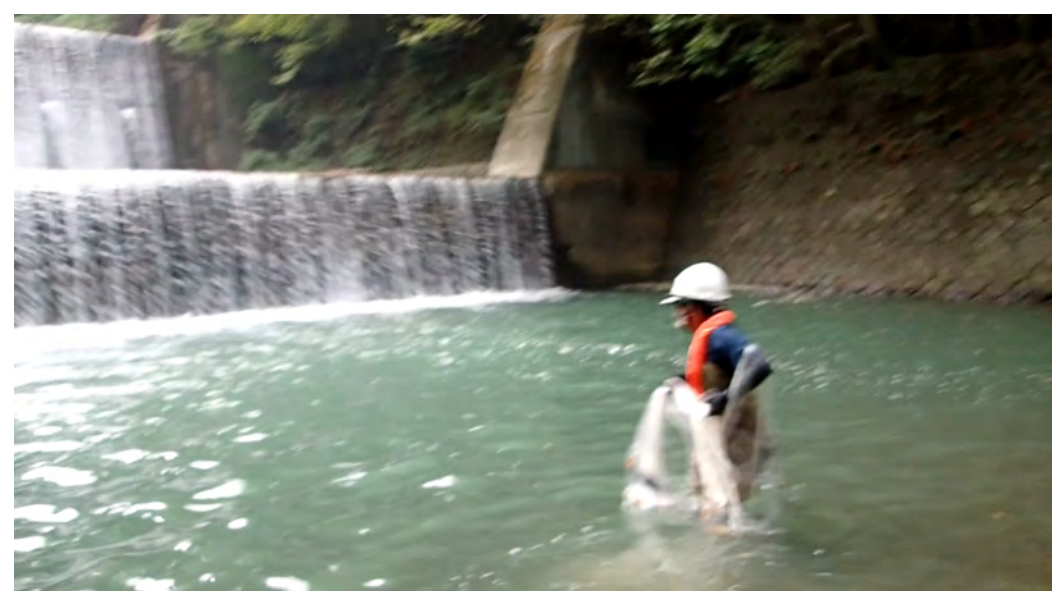


大阪府内魚類相データの収集

生物多様性の評価や、絶滅のおそれのある種（レッドリスト記載種）の選定、保全のための最も基礎的かつ重要な知見として、主に河川の魚類生息状況を調査しています。

調査方法

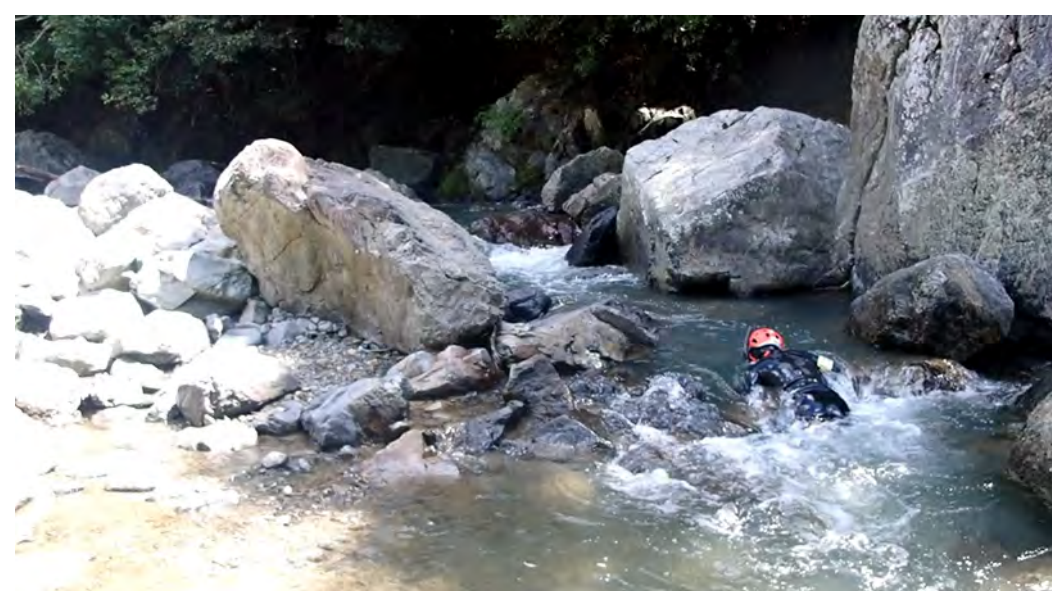
- 魚類の調査には河川環境や対象となる種によって、様々な漁具や方法を使います。



投網



地曳網



潜水目視



延縄（はえなわ）



環境DNA

府内22河川の捕獲調査

在来種を74種、外来種を18種確認しました。

- 通し回遊魚と周縁性淡水魚（汽水域で採集した海産魚含む）が過半数を占めました。



環境DNAによる府内70地点における魚類分布調査（2021年）

- 環境DNAとは、ここでは水中に含まれる生物の細胞や排泄物由来のDNAを指します。
- 府内全域で70地点を5日間で採水し、92種（亜種、種内多型等含む）を検出しました。

